

す

く

す

く

84号



東京都済生会中央病院附属乳児院 2023年度 第3号 2023. 10. 1 発行

東京都済生会中央病院附属乳児院 院長 岡尾 良一

むせかえるような夏も過ぎて、やっと暦の上と同じ秋を感じられるようになりましたが、皆さま、いかがお過ごしでしょうか。今年は本当に暑い日の連続で、子どもたちも職員も体調を壊さないかと心配でしたが、幸いなことに無事に過ごすことができました、ほっとしています。

猛暑ではありましたが、言いかえますと天気恵まれたことにもなり、いろいろなイベントを行うことができました。恒例の水遊びは、1F・5Fの芝生の上にプールや噴水様のホースを出して、ほぼ毎日しゃぎ回りましたし、また立派なスイカを頂きましたので、それでスイカ割りを楽しみました。そしてコロナ禍で行けなかったバス遠足は、もちろん子どもたちは大喜びでしたが、引率の職員も喜んでいました。屋内での夏祭りや、初めての屋外花火には、子どもたちも少し驚いていましたが、しばらくして慣れてくると、いっぱい笑顔を見られました。そしてまた、お買い物体験を、ユニクロさん・ドトールコーヒーさんのご協力のもと、開催することができて、子どもたちの貴重な体験となりました。

日頃から乳児院にご支援・ご援助をいただきまして深く感謝いたします。今後も温かく見守っていただきたく、よろしくお願いいたします。



理学療法士 新井 保久



総裁 秋篠宮皇嗣殿下が乳児院を視察になりました

9月4日、済生会総裁の秋篠宮皇嗣殿下が乳児院を視察されました。殿下の来訪は平成25年に続き2度目となりますが、当院は令和6年1月26日に創立100周年を迎えるにあたり、印象深い記念となりました。令和2年に乳児院新棟が竣工し、小規模グループケアによる養育体制となって初めての来訪です。

殿下は0歳児の乳児室や1歳から3歳の子どもたちが生活する居室やプレイルームを視察になり、子どもたちや職員に優しくお声をかけられました。



理 念

「済生の精神」に基づいた思いやりのある養育の提供を通じて社会に貢献します。
（「済生の精神」とは、分け隔てなくあらゆる人々に医療・福祉を差し伸べることです）

基 本 方 針

「子どもニーズ 子どもファースト」

私たちは、常に子どものことを第一に考え、子どもの目線に立ち、
子どもの気持ちの代弁者として実践し、一人ひとりの子どもの最善の利益を追求します。

1. 子どもが安心できる環境の中で、個性を尊重し、愛情を注いで養育します。
2. 愛着関係を大切にし、情緒豊かな子どもに育てていきます。
3. 感動や成功体験を通し、子どもの自立心を養っていきます。
4. 子どもの成長の喜びを保護者と共有し、親子関係を大切にしながら養育します。
5. 乳児院職員として、向上心や探究心を持ち、人間性・専門性を高めていきます。



夏のえんそく ～アンパンマンミュージアム～

7月7日たんぼぼのお部屋の子どもたちは横浜にある屋内施設「アンパンマンこどもミュージアム」にバス遠足に行きました。施設内には、あちらこちらにアンパンマンのイラストや飾りがあり、子どもたちは大興奮。シアターでは、アンパンマンをはじめ人気キャラクターが集合したダンスや歌のショーを見学し、初めて見る動くアンパンマンに少し緊張気味でした。お昼ごはんは、アンパンマンの旗がついたお子様ランチをみんなで食べました。自分で選んだお土産とともに帰りのバスに乗り込むと、みんなすぐにスヤスヤと寝息を立てていました。大好きなアンパンマンとその仲間たちに囲まれていっぱい遊んだバス遠足。とても楽しい思い出になりました。

保育士 五味 亜紀子



夏まつり

7月20日に夏祭りが行われました。はっぴと豆絞りを着て準備万端の子どもたち。会場に着くと普段と違う雰囲気目目を輝かせている子、少し緊張した様子で職員の手をギュッと握る子など様々な反応を見ることができました。はっぴを着た職員にお祭りチケットを渡してそれぞれ屋台を楽しみます。お面に好きなシールを貼って頭に被り、ボール投げでもらったヨーヨーを持ってお祭りを満喫していました。お菓子屋さんでは普段と違うおやつを嬉しそうに選び、あっという間に完食していました。居室に帰ってからも「お祭り楽しかった」「ボールぽんした」と嬉しそうに話し、お祭りでもらったヨーヨーで遊んで素敵な夏の思い出になりました。

保育士 岩満 実歩



各居室の子どもたちの日々のエピソードをお届けします

たんぽぽ

最近のみんなのブームはお世話ごっこです。ぬいぐるみを抱っこしたりおんぶしたり、時にはマットに寝かせて優しくトントンしたり…。そんなたんぽぽユニットに先日、乳児室から小さいお友達が移動してきました。お友達の顔を覗き込んで話しかけたり泣いている時には頭を撫でてあげたり、お世話好きのお兄さんお姉さんたちは大忙しです。

保育士 小林 由貴



ひまわり

晴れた日にはお庭でプールに入ります。大きい子は職員に水を飛ばしてかけてみたり、ジョウロで上から水を流して「雨みたい!」と楽しそうに遊んでいました。小さい子は初めてのプールに緊張しつつ、水面を叩いて感触を楽しみました。花火大会では手持ち花火も楽しみ、数日間「花火きれいだったね」と思い出話をしていました

保育士 淵上 春佳



こすもす

水遊びが大好きな子どもたち。プールに寝そべて豪快に楽しむ子、カップを沢山持って水を流して楽しむ子、噴水の様に出てくる水を不思議そうに掴もうとする子、楽しみ方は様々です。暑い季節も水遊びや氷遊び等、夏ならではの遊びを満喫して暑さを吹き飛ばしました。

保育士 柳 杏奈



ちゅーりっぷ・さくら

乳児ユニットのA君は先日お宮参りに行きました。初めて着る服や、初めて訪れた場所、知らない人に目を丸くしては、じっと興味深そうに眺めています。お子さんにとっては初めてばかりの場所でも、大人に笑顔で声をかけられると嬉しくなるのか、普段のようににっこりと笑顔を見せてくれる様子もありました。

保育士 奥ノ矢 奈津



あたたかなご支援を ありがとうございます



新潟の佐藤様より
スイカをいただきました



ドトールコーヒー様のご協力
でお買い物体験をしました



ユニクロ様のご協力
お買い物体験をしました



東京・芝ロータリークラブ様より
お散歩カート 2 台をいただきました



ふれあい実習 9月8日、共立女子大学看護学部の1年生8名がふれあい実習を行いました

当院では小児看護学領域などの臨地実習を受入れています。今回の実習は、地域と乳児院のつながりや、“社会で子どもを育てる”ためには欠かせない、子どもに関わる様々な専門家たちが、当院でどのように活動しているのかについてご紹介するプログラムとなりました。看護学生の皆さんにとって、忘れられない実習体験となることを願っています。

副院長 石田 晃代



【0～3 歳児の育児にお困りの方へ】

当院では育児相談を平日 9～16 時に受け付けています。 担当 看護師長 小泉

【創立100周年記念 寄付金のお願い】

当院はわが国初の乳児院として開院し、令和6年1月26日で100周年を迎えます。今回、乳児院の子どもたちに天然芝生の遊び場をつくることを目的に、寄付金のご協力をお願いしています。

募集期間：令和5年7月1日～令和6年6月30日 担当 事務 竹田

上記について詳しくは右記までご連絡ください。 Tel 03-3451-8289（直通）

「すくすく 第84号」2023.10.1 発行

〈発行人〉 岡尾 良一

〈編集委員〉 小泉 菜穂子 前田 朋子 樋口 麻友子 長縄 友里